

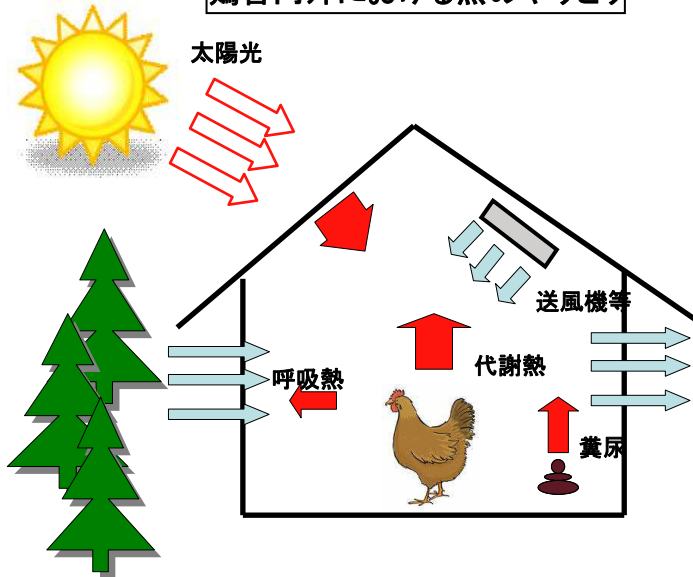
かほだより

猛暑が予想されています。暑熱対策を再確認しましょう！

例年、ブロイラーは夏前の突然の気温上昇により、乳牛は夏を耐え忍んだ秋に被害が多くなる傾向があります。

油断大敵！今から暑さへの備えをお願いします！！

鶏舎内外における熱のやりとり



ポイント1: 鶏舎外対策

- ① 日除け：グリーンカーテン、よしず、寒冷紗等を利用しましょう。
- ② 屋根や壁からの放熱量の削減：屋根裏への断熱材設置、屋根への消石灰塗布などで熱さを入れない対策をしましょう。
- ③ 鶏舎内に温湿度計を置いて記録する等、日頃から温度・湿度を観察しましょう。
- ④ 換気扇や扇風機、細霧装置の正常な動作を確認しましょう！

ポイント2: 鶏舎内対策

- ① 通風等の改善：送風機と細霧装置の併用が効果的です（湿度が高い日の散水は逆効果）。
- ② 飲水：常時新鮮で冷たい水を供給しましょう。
- ③ 飼料給与：涼しい時間帯（朝・晩）の飼料給与やミネラル・ビタミン等の補給を行いましょう。
- ④ 除糞：こまめな除糞で鶏舎内を衛生的に保ちましょう。

ポイント3: 重曹の投与

鶏は高温環境下では体温調節のため、パンティング(あえぎ呼吸)によって体温を下げようとします。パンティングにより体内の炭酸ガスが過剰に排出されて血液がアルカリ性になることを予防するため、重曹を飼料又は飲水に0.5~0.7%の割合で混ぜて給与すると効果があるとの報告があります。

暑熱による被害等がありましたら、家畜保健衛生所へご一報願います。

長野県松本家畜保健衛生所 電話：0263-47-3223 (FAX 47-0101)